

日本ダムコーヒー協会の紹介

取扱い注意



令和5年6月16日(ダムコーヒー認定証運用開始1周年記念):写真は国土交通省長島ダム

※日本ダムコーヒー協会「会長」 ※日本ダムガイド協会会長

※(一財)日本ダム協会ダムマイスター「専門家」

※NPO法人地域リサイクル推進機構「専務理事」

※NPO法人木曽三川環境保全機構「理事」 ※環境技術学会「監事」

※国土交通省中部地方整備局長島ダム管理所「長島ダム特命大使」

町田 輝次 (まちだ てるつぐ)

更新日:令和5年6月16日

日本ダムコーヒー協会の目的・会長挨拶

1. 日本ダムコーヒー協会の目的

日本ダムコーヒー協会は、全国に点在（約1470基）するダム水源地等の大切さを広く国民に知ってもらう新たな地域活性化のグローバルツールとして、ダム毎の水源地やコーヒー豆等で淹れた手軽で身近なコーヒーをモチーフにした「〇〇ダムコーヒー」と称し、新たな時代に向けた『グローバル活性化ツールの促進』『**持続可能なダム広報**』『ダムの日制定（6月16日：日本最古の狭山池ダム完成年）』を目指して更なるダムへの支援の輪を全国に広げるため、健全なボランティア活動を目的としています。

2. ダムコーヒー認定運用開始1周年記念ご挨拶（日本ダムコーヒー協会会長）

日本ダムコーヒー協会会長の、町田輝次と言います。

これまで、当時の水資源開発公団、建設省等でダムや湖沼の建設・管理等を主に歩んできましたが、その体験をダムへの恩返しも含めて活かすべく、日本ダムコーヒー協会を設立し、おかげをもちまして運用開始1周年を令和5年6月16日に迎える事が出来ました。

今回は、これまでにない新たな水源地域活性化策として、《**ダムは ～いつでも どこでも～ あなたと繋がっています**》を合言葉にした〇〇ダムコーヒー認定証を授与する制度を日本で初めて生み出し、これまでに11ダムを認定しています。（詳細はP-12参照）

これまでは、ダムに興味を持たれなかった皆さんでも、身近で手軽なコーヒーを縁に全国の多彩なダムと触れ合って、我がダムとして愛して頂ければ幸いです。

全国のダムと皆さんとの懸け橋に、日本ダムコーヒー協会が寄り添えればとの熱き想いでこの活動を自然体でこれからも展開していく所存です。

ダムを愛する全国の多彩な皆さんと共に、夢に向かって大きく羽ばたいて行きたいと願っていますので、更なるご理解・ご協力・ご支援の程宜しくお願い致します

4. 日本ダムコーヒー協会(全国〇〇ダムコーヒー愛好会事務局兼務)の紹介

- 1) 設立日: 令和3年11月16日 2) 運用開始日: 令和4年6月16日(「ダムの日」)
- 3) 役員: 会長・町田 輝次(技術士・日本ダム協会ダムマイスター「専門家」)
副会長・橋本 岩夫(RCCM)
理事・石田 勝紀(一級造園施工管理技士)
・井尾 賢治(日本ダム協会ダム建設功労者表彰受賞)
・松崎 哲哉(総合旅行業務取扱管理者)
・町田 康輝(AFP)・加藤 景子 他
- 4) 協力団体: 橋本技術(株)・NPO法人地域リサイクル推進機構・NPO法人木曽三川環境保全機構・(株)ナショナルランド・ウインコンサルティング(株) 他
- 5) 事務局: 滋賀県長浜市高月町東柳野425 橋本技術株式会社内(〒529-0263)
- 6) アクセス: JR北陸本線高月駅下車徒歩約30分、JH北陸自動車道小谷インターチェンジ下車約10分。
- 7) 連絡先: TEL0749-85-4851 FAX0749-85-5205
- 8) ホームページ: <http://hashimoto-gijyutu.com/> (橋本技術(株)で検索)
- 9) 会長メールアドレス: win-machida@t.zaq.jp (携帯: 090-2064-4289)
- 10) 取引銀行: りそな銀行三国支店(店番123) 日本ダムコーヒー協会 普通口座(0277111)
- 11) 「ダムコーヒー」特許庁商標登録
 - ・登録日: 令和3年11月26日・登録番号第6477111号・登録者名: 町田輝次
 - ・有効期限10年間

※類似例として「道の駅」は、国土交通省道路局長名で商標登録されています。

- 12) ダムコーヒー認定制度運用開始: 令和4年6月16日

〇〇ダムコーヒー認定制度の誕生

5. 目的(ダムは ～いつでも どこでも～ あなたと繋がっています)

ダムや水源水を大切な国民的レガシー（次世代に引継ぐ貴重な国民的遺産と位置付け、これまでの**ダムカード**（現地で貰う）や**ダムカレー**（現地で食べる））に続く新たな時代に向けて、新型コロナウイルス感染症対策、高齢者や身障者の皆さん等がダム現場に行かれなくとも、『ダムは ～いつでも どこでも～ あなたと繋がっています』を合言葉にグローバル活性化のツールとして**ダムコーヒー**（どこでも飲む）を生み出しました。

また、ダムカードやダムカレーが無いダムも全国には月刊誌「ダム日本」の取材で数多くある事を知り、これらのダム（全国の多目的ダム570基＋利水ダム900基＝**約1,470基**）に向けて、多彩な地域活性化に辿り着けるツール選択にも配慮しました。

やっと、たどり着いた先が、国民1人が毎日約1杯は飲んでいる手軽で身近なコーヒー（日常生活で3～4杯飲む人が多いとのことで、私も2杯飲んでいます。）が、在宅勤務や生活習慣病予防への健康志向もあって、ブームになっていることをヒントに「**ダム水源水**」「**下流水道水**」「**ダムコーヒー豆**」等で淹れた『**あなただけのダムコーヒー**』を味わいながらのひとときを、ダム等への温かい想いを馳せて頂ければ幸いです。



兵庫県川西市の一庫ダム（モデル）

一庫ダム流域内の能勢電車妙見の水（無料）

大阪市内の友人がたしなむ一庫ダムコーヒー

〇〇ダムコーヒー認定制度の概要

6. 〇〇ダムコーヒー認定制度の概要

〇〇ダムコーヒー認定証(ミシュランの☆獲得のイメージ)を発行する運営組織として、日本ダムコーヒー協会を令和3年11月16日に設立し、令和4年2月28日開催の水源地活性化講習会発表(日本ダム協会主催)を本格的なスタートとして、令和4年6月16日から運用を開始しています。

この認定証は、全国に点在するダム毎にダムコーヒーへ関わる夫々の立場に応じて、以下に示す5部門があります。

※河川法第44条が定義するダム(堤高15m以上)及び堰において、ダム水源水が含まれている水道水(ダム下流域での混合水道水でもOK)・ペットボトル販売水又はダムコーヒー豆等を使用した「**コーヒーを日常たしなむ**」飲食店、キャンプ場、公共&民間事業所、個人&家族等が対象。

例えば、一庫ダム水源水が含まれているペットボトル、一庫ダム下流域水道水・一庫ダムコーヒー豆等を用いて沖縄で淹れたコーヒーをたしなめば、遠方であっても「一庫ダムコーヒー」に該当します。

①公共事業者部門(ダム湖やダムが見える、ダムに関わる公共事業所もOK)

公共機関のダム管理所&ダム建設所、地元自治体ダム担当部署等。

②民間事業者部門(ダム湖やダムが見える、ダムに関わる民間事業所もOK)

飲食店&キャンプ場&天然水メーカー&コーヒー豆&コーヒードリップバック&コーヒーカップ製造・販売者&ダム建設業者&建設コンサルタント業者等。

③家族部門(ダムやダム湖を見て通る人・ダムで働く人の家族・流域に住む家族もOK)

日常、自宅やダムコーヒー認定証を受けた飲食店でコーヒーをたしなむ家族。

④個人部門(ダムやダム湖を見て通る人・ダムに関して働く人・流域に住む個人等もOK)

日常、自宅やダムコーヒー認定証を受けた飲食店コーヒーをたしなむ個人。

⑤聖地部門(日本ダムコーヒー協会にて決めますので申請は不要)

全国47都道府県で、最初にダムコーヒー認定証を授与された各部門部門者。

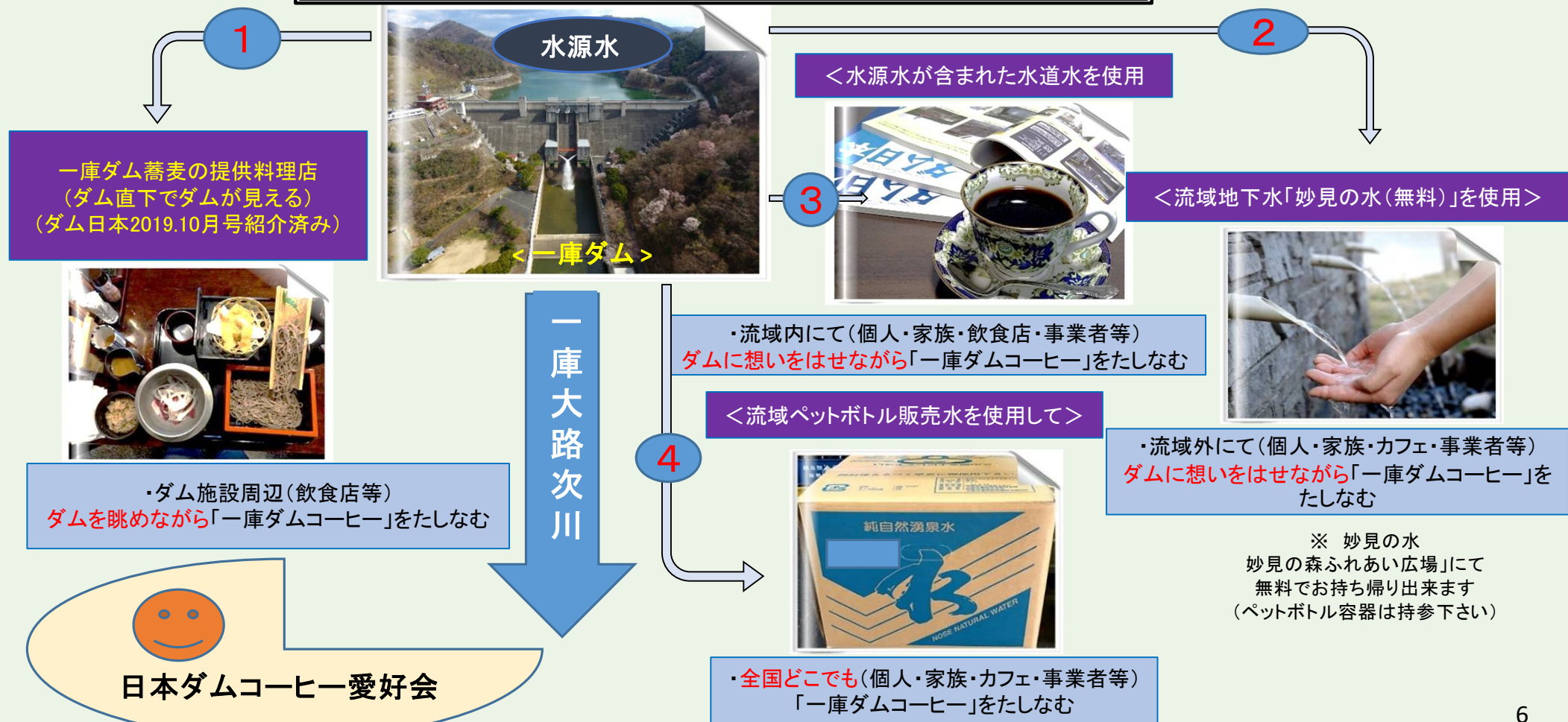
※制度の類似例としては、日本ロマンチスト協会の「ロマンスマーク認定制度(物・人)」があります。

〇〇ダムコーヒー認定制度の仕組み

7. モデルダムでの構築実証への取り組み

モデルダムとして、私が住む大阪市内から最も近くてかつ私がダム建設に携わりダムや地域状況を把握している一庫ダム管理所のご協力を頂き、「一庫ダムコーヒー認定制度」の仕組み作りについて、令和3年12月～令和4年2月にかけて行ないました。（なお、モデルの一庫ダム管理所と和音さんは認定証授与済）

「一庫ダムコーヒー」の認定を受けるには





商標登録証

(CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION)

登録第6477111号

(REGISTRATION NUMBER)

商標

(THE MARK)

ダムコーヒー

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分

(LIST OF GOODS AND SERVICES)

第30類

コーヒー, 焙煎したコーヒー豆, 即席コーヒー, アイ
スコーヒー, エスプレッソコーヒー, ミルクコーヒー
その他別紙記載

商標権者

(OWNER OF
THE TRADEMARK RIGHT)

町田 輝次

出願番号

(APPLICATION NUMBER)

商願2021-003973

出願日

(FILING DATE)

令和 3年 1月15日 (January 15, 2021)

登録日

(REGISTRATION DATE)

令和 3年 11月26日 (November 26, 2021)

この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

特許庁長官

(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

令和 3年 11月 26日 (November 26, 2021)

森



商標登録証

(CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION)

登録第6477111号

(REGISTRATION NUMBER)

商願2021-003973

(APPLICATION NUMBER)

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分

(LIST OF GOODS AND SERVICES)

(第30類) , コーヒー飲料, 代用コーヒー, コーヒー豆

第43類 コーヒーを主とする飲食物の提供, 飲食物の提供
[以下余白]

(続葉 1)

8. ダムコーヒー認定証申請

〇〇ダムコーヒー(〇〇部門)認定証(A3サイズ)を受けたい方は、日本ダムコーヒー協会事務局宛該当部門毎に所定の認定申請書を郵便(メール送付は×)で提出し、日本ダムコーヒー協会内に別途設置されています「認定審査会」で適宜公平・公正に審査し、合格者には栄えある〇〇ダムコーヒー認定証が授与されます。

また、同一者であっても所定の手続きを経れば、ダム毎に〇〇ダムコーヒー認定書の複数授与が可能ですので、ダムカード同様収集マニアが増えるものと想われます。

(例えば、長島ダムコーヒー、大戸川ダムコーヒー、一庫ダムコーヒー、馬ヶ城ダムコーヒー等)

- 1) 郵送先:事務局(P-3に示す)
- 2) 認定証費用:実費負担(認定証作成・郵送代等計4,000円)なお、振込料は申請者負担
- 3) 認定証の有効期限(運転免許証と同じ原則発行日から5年更新)
- 4) 申請書(例:個人や家族の場合)
 - ・住所 ・電話番号 ・Eメールアドレス
 - ・氏名 ・生年月日 ・職業(記入出来れば)
 - ・該当条件(P-5参照)

《申請方法が分からない時は遠慮なく、会長か事務局にお問い合わせ下さい。》

～ダム水源水等の入手方法を調べる事自体が、水源地への想いを寄せる事となり得ます。～

例えば、一庫ダムの水源水は、兵庫県(川西市、宝塚市、神戸市、伊丹市、尼崎市、西宮市、猪名川町の6市1町)及び川西市へは「多田浄水場」より、池田市および豊能町へは「古江浄水場」より取水された水をおおよそ45万人に供給されています。(一庫ダムHPより)

- ・〇〇ダムへの関わり方や想い(見学会・清掃活動等参加)
- ・誓約書 ・合否連絡はがき

9. 認定者の協力義務

- 1) 認定者は、希望により日本ダムコーヒー協会の会員(会費は無し)になり、認定ダムのPR等により温かい健全な支援を行う。
- 2) 民間事業者においては、事業所内において〇〇ダムの「持続可能な広報」等の環境整備に努める。
- 3) 公共事業者にあつては、〇〇ダムコーヒー認定によるダム活性化や地域活性化、〇〇ダムコーヒー認定者が参加を希望するダム見学会等を通じて、ダム事業の更なる「持続可能なダム広報活動」に努める。 事例)長島ダム管理所では、ダムコーヒーの展示コーナーが併設されています。 ⇒
- 4) 個人及び家族にあつては、〇〇ダム調査所、建設所及び管理所等が開催するダム見学会等の啓発活動への積極的な参加及び、〇〇ダムコーヒー認定制度をクチコミ等で自主的にその輪を拡げること努める。
- 5) 支援及び協力者の募集



日本ダムコーヒー協会の趣旨に賛同される団体及び個人は、協会にその旨申し出て、その内容について双方協議に基づき、協会は必要な支援や協力を受ける事が出来ます。

※団体とは、公共団体、公益法人、NPO、飲食事業者、天然水ペットボトル&コーヒードリップ&コーヒーカップ等販売事業者、建設会社、建設コンサルタント会社等を指します。

10. 「ダムコーヒー」の特許庁商標登録使用注意事項

〇〇ダムコーヒー認定証以外で、団体及び個人での「ダムコーヒー」用語を使用したい時は予め、日本ダムコーヒー協会にその旨申し出て、許可を得てから使用出来ます。

これを怠り無断で使用した場合は、商標登録法第78条及び第82条により罰せられる事がありますので、十分ご注意下さい。

《留意事項》

- 1) 認定証授与者は、〇〇ダムコーヒー認定制度の趣旨を十分に理解し、健全な社会貢献活動に資する行動に努めるものとします。
- 2) 認定証を受けた者は、認定制度を実践する中で生じたトラブル(水源水・水道水・コーヒー豆の入手や飲食店の利用等)や事故(水源水等の衛生等)等については、協会はその責任を一切負わないものとします。
- 3) 認定制度の廃止については、協会が解散された時、又は「ダムコーヒー」の商標登録者から商標登録に関する使用中止の申し入れが出された場合は、認定制度を廃止しますが、制度が廃止されても認定証に明記された期間内は有効とします。
その場合の金銭補償等は、一切ありません。

- 4) 認定制度の運用開始時期については、令和4年6月16日から運用を開始していますので、事務局ホームページ等で各自その都度ご確認下さい。

主なダムコーヒー認定証授与者紹介

一覧表

- ①独立行政法人水資源機構一庫ダム(兵庫県川西市)
 - ・一庫ダム管理所 (日本ダムコーヒーの聖地)
 - ・NPO法人地域リサイクル推進機構
 - ・京風かに・鰻料理「和音(わのん)」
- ②国土交通省長島ダム(静岡県川根本町)
 - ・長島ダム管理所 (静岡県ダムコーヒーの聖地)
 - ・カフェ大井川鉄道沿「奥湖上駅カフェ晴耕雨読」
 - ・カフェ大井川鉄道沿「うえまる」
 - ・NPO法人地域リサイクル推進機構
- ③愛知県瀬戸市馬ヶ城ダム(水道専用ダム)
 - ・NPO法人よつ葉(瀬戸市役所1階カフェ)
(愛知県ダムコーヒーの聖地)
 - ・瀬戸市市民活動登録団体「スマイルプロジェクト」
- ④独立行政法人味噌川ダム(長野県木祖村)
 - ・喫茶「クマタ」(長野県ダムコーヒーの聖地)
- ⑤独立行政法人長良川河口堰(三重県桑名市)
 - ・NPO法人木曾三川環境保全機構
(三重県ダムコーヒーの聖地)
- ⑥～⑩東京都小笠原村5ダム(境浦・時雨・小曲・連殊・乳房)
 - ・株式会社ナショナルランド
(東京都ダムコーヒーの聖地)
- ⑪国土交通省大戸川ダム(滋賀県大津市)
 - 大戸川ダム工事事務所(滋賀県ダムコーヒーの聖地)



国土交通省中部地方整備局長島ダム管理所

ま と め

これまでに受けたダムへの恩返しも含めて、時代に即した新たなグローバル活性化について思案したところ、《ダムは ～いつでも どこでも～ あなたと繋がっています》を合言葉に手軽で身近なコーヒーを「〇〇ダムコーヒー認定制度」がこのほど1年を迎えたところであり、これからも多彩な取り組みをしながらより良い「グローバル活性化」の普及に努めてまいります。

日本ダムコーヒー協会は、これからも試行錯誤する中で果敢に挑戦していく覚悟の基、健全なダム支援のボランティア活動として地道ながら、役員の知力&気力&体力が許される限りご賛同頂ける皆さんと共に、この輪を全国に広げていく所存です。



追 伸

この2月23日NHKまちかどスペシャルにて、今「お取り寄せツアーで旅行気分」が好評で、地域の美味しい食べ物を取り寄せ、オンラインで同趣味の仲間と食べながら語り合う事がブームだそうです。

「ダムコーヒー」がとても似ていますので、自信を深めたところです。